

科目名 (科目番号)	栄養生理学実験 (時間割参照)	教員名 澤田和彦	学科等	保健栄養	必修	履修年次	2
			曜日・時限等	時間割表参照	単位数	1	
			授業形態	実験・実習	オフィスアワー	火4・D306研究室(澤田)	
授業概要	人体の構造と機能I・IIで学んだ人体の正常な構造について、身体計測、や骨格標本の観察、小動物の解剖、組織観察、心電図や筋電図の測定、体性感覚の評価などを通してより深く理解するとともに、健康管理を担う栄養分野の専門家となるための解剖生理学の基礎知識を身に付ける。						
目的・目標	目的:実験実習を通して、栄養士、管理栄養士を志す学生として必要な人体の構造と機能の基礎を習得する。 目標:①人体の肉眼解剖的、顕微解剖的な構造への理解を深める。 ②心臓と脾臓の生理機能、血液の性状などについて理解を深める。						
準備学習	毎回の授業の到達目標と学習内容を十分に理解しておくこと。						
授業計画	回	授業項目	到達目標・学習内容				
	1	骨格標本の観察	到達目標:人体の骨や関節の構成、形状について骨格標本を用いて説明できる。 学習内容:人体の骨格標本の観察。				
	2	体性感覚	到達目標:皮膚における識別性触覚について説明できる。 識別性触覚の体部位による違いを説明できる。 実習内容:二点弁別による各体部位の識別性触覚の評価。				
	3	小動物の解剖	到達目標:胸腹部内臓の原位置、構造、有機的な繋がりを系統立てて説明できる。 実習内容:小動物(ラット)の解剖と、胸腹部内臓の肉眼解剖的観察。				
	4	血液の性状・血球の分類、 血球の数	到達目標:血液の液体成分の性状と、血球の数や、血球の形状による分類について説明できる。 実習内容:採取した血液を用いた①血清または血漿の分離と観察、 ②血液塗末標本の作成と顕微鏡による血球の観察・スケッチ、 ③血球計算盤を用いた血球数の計測。				
	5	組織観察	到達目標:肝臓、腎臓、副腎の組織構造を顕微標本を用いて説明できる。 実習内容:肝臓、腎臓、副腎の組織の顕微解剖的観察とスケッチ。				
	6	数値データ解析	到達目標:臓器による重量の違いや性差について説明できる。 実習内容:雌雄ラットの主要臓器の重量計測。 各臓器重量(計測数値)の雌雄差の統計解析。				
	7	循環器系の解剖と生理	到達目標:心臓の基本構造、心電図の基本原理を説明できる。 実習内容:模型標本を用いた心臓の外形および内景の観察・スケッチ。 安静時の心電図の測定。 血圧、脈拍の計測。				
	8	身体計測	到達目標:体型、体組成を調べるための身体計測法の基本手技を習得し、 栄養アセスメントに必要な身体計測法を理解する。 実習内容:体型の計測・評価。 体組成の計測・算出。				
成績評価の方法・基準	対面時:レポート(100%) オンライン時:レポート(100%)						
教科書	コメディカル専門基礎科目シリーズ 解剖学		澤田和彦・坂田ひろみ 編		理工図書		
参考図書							
教員からのメッセージ	実験レポートは、コメント等を付して返却します。 昨年度の授業評価アンケート結果に基づく改善を施します。 オンライン授業に伴い授業計画に変更がある場合は、オンラインクラスで変更のシラバスを周知いたします。						